

議員提出議案第23号

東京都の018サポート事業給付金を生活保護の収入認定から除くことを求める意見書

上記の議案を提出します。

令和5年10月20日

中野区議会議長 酒井 たくや 殿

提出者 中野区議会議員

森 たかゆき

市川 しんたろう

加藤 たくま

ひやま 隆

浦野 さとみ

中村 延子

東京都の018サポート事業給付金を生活保護の収入認定から除くことを求める意見書

東京都は、子ども一人ひとりの学びや成長を等しく支えるため、0歳から18歳までのすべての子どもに対し、1人あたり月額5千円、年額6万円を支給する018サポート事業を開始した。本事業は、子ども本人を対象とした施策であり、給付金は子どもの本人の収入となる。

しかし、生活保護世帯は当該給付金が全額、世帯の収入として認定される。そのため、生活保護費の減少が生じるため、結果として、世帯収入は変わらない状況となる。大変、厳しい生活環境にあるにも関わらず、当該給付金は従来通りの生活費として使われることになり、生活保護世帯には本事業の給付金は行き届かないことになる。

よって、中野区議会は、政府に対し、018サポート事業給付金を生活保護の収入認定から除くことを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

年 月 日

内閣総理大臣

厚生労働大臣 あて

中野区議会議長名